

群馬大学大学院理工学府 環境創生部門 教員公募

1. 職 名 准教授または講師
2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学
3. 所 属 大学院理工学府 環境創生部門
(理工学部 物質・環境類 土木環境プログラム)
4. 業務内容 研 究
 - ・土木計画学関連分野（交通計画、都市計画、防災計画等）の研究
 - ・持続可能社会実現に資する実践的研究
 - ・次世代モビリティ社会実装研究センターおよび広域首都圏防災研究センターが推進する産官学連携プロジェクト 等教 育
 - ・大学院・学部学生に対する教育・研究指導
 - ・担当授業科目
(学部) 学びのリテラシー(1)、地域の安全と環境、土木計画学、土木計画学演習、交通・都市開発工学、防災計画、測量学実習、課題発見セミナー、課題解決セミナー 等
(大学院) 交通・都市開発工学特論、災害社会工学、理工学特別演習、理工学特別実験 等
その他、専門分野に関する教養教育科目を担当管理運営・社会貢献
 - ・理工学府の管理運営に関する業務
 - ・理工学府、次世代モビリティ社会実装研究センター、広域首都圏防災研究センターが進める(社会貢献活動)への参画・協力
5. 勤 務 地 桐生市天神町 1-5-1 桐生キャンパス
6. 募集人数 1 名
7. 採用予定日 令和7年4月1日(以降のなるべく早い時期)
8. 専門分野 大分類：社会基盤
小分類：土木計画学、交通工学、防災工学、社会システム工学
9. 任 期 5 年

任期中に業績評価・審査を行い、適任となった者は任期の定めのない教員として雇用する。定年は満 65 歳の年度末とする。

10. 応募資格 次のいずれも満たす者
- (1) 博士の学位を有する者又はこれに準じる者
 - (2) 土木計画学分野（国土計画、地域計画、都市計画、交通計画、防災計画等）における優れた研究業績を有し、熱意と意欲を持って学生の教育と研究指導ができる方
 - (3) 社会貢献業務、学部運営業務等に積極的に関われる方
11. 給 与 年俸制適用 退職手当あり
- 本学教職員就業規則及び2号年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定
- ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり
- 教職員就業規則
- https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf
- 2号年俸制適用教員給与規則
- https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022085.pdf
12. 就業時間 8：30～17：15 を基本として、専門業務型裁量労働制を適用
- (1日7時間45分働いたものとみなす)
13. 試用期間 6か月
14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12月29日～1月3日)
- 年次有給休暇、特別休暇等
15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
16. 受動喫煙防止措置の状況 敷地内禁煙（ただし、屋外指定箇所に喫煙場所設置）
17. 応募締切 令和6年10月31日必着
18. 提出書類 (1) 教員個人調書（本学所定様式）
- (2) 教育研究業績書（著書・学術論文等の総括表を含む）（本学所定様式）
- (3) 科学研究費補助金等の受給状況（本学所定様式）
- (4) その他の履歴・業績等（本学所定様式）※該当がある場合

- (5) 主要論文5編程度の別刷りまたはコピー
- (6) これまでの研究概要(2,000字程度)
- (7) 教育、研究についての抱負(2,000字程度)
- (8) 意見を聞くことのできる方 2名の連絡先
(所属、電話番号、メールアドレス)
- (9) 写真台帳

19. 書類送付先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町一丁目5-1
群馬大学理工学府 土木環境プログラム長 清水 義彦
簡易書留にて「環境創生部門土木環境分野教員応募書類」と朱書きのうえ、
郵送願います。
なお、提出書類は原則として返却いたしません。
20. 選考内容 書類選考の上、合格者に対し面接(※必要に応じてプレゼンテーションや模
擬授業を含む)を実施
面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担
21. 問い合わせ先 群馬大学理工学府環境創生部門 清水 義彦
電話:0277-30-1642
e-mail: riverside@gunma-u.ac.jp
22. そ の 他
- (1) 応募書類に記載された個人情報は、本選考以外の目的には使用しません。
 - (2) 群馬大学は男女共同参画・ダイバーシティの推進による多様な人材の活用を進めて
おり、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献等)及び人物の評価において同等と認
められた場合には、積極的に女性を採用します。
なお、女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。
(リンク先: https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_links/)
 - (3) 若手、外国人若しくは海外経験のある日本人の採用を積極的に行います。